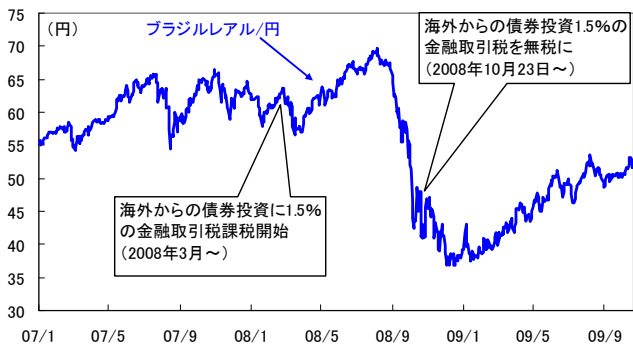


ブラジル 2%の金融取引税導入と金融市場への影響

- ✓ ブラジル非居住者による株式・債券の購入代金の送金に係わる為替取引に金融取引税を2%課税することが発表された。
- ✓ 同課税の背景は通貨高の抑制が主要目的。
- ✓ ブラジル当局は、過去の通貨高局面にも同様の措置を講じたことがあるが、当時の効果は限定的であり、その後も通貨高は継続した。
- ✓ 今回の課税措置によるブラジルレアル高抑制効果は限定的と見られる。

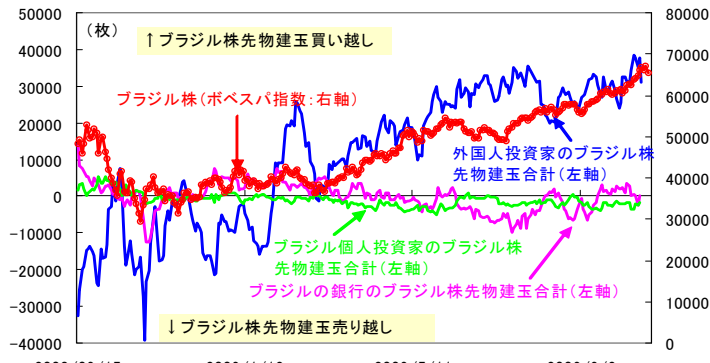
ブラジル当局は2008年3月に、非居住者による債券投資に1.5%の金融取引税を課税した経緯がありますが、当時その効果は限定的であり、ブラジルレアル高は続きました(図表①参照)。ただし、今回の措置は、株式購入に係わる為替取引にも2%の課税があるため、多少の影響が株価に現れる可能性があるとする向きもあります。なぜなら、ブラジル株の上昇は外国人投資家によって支えられてきたからです(図表②参照)。

【図表①】



出所:ブルームバーグ

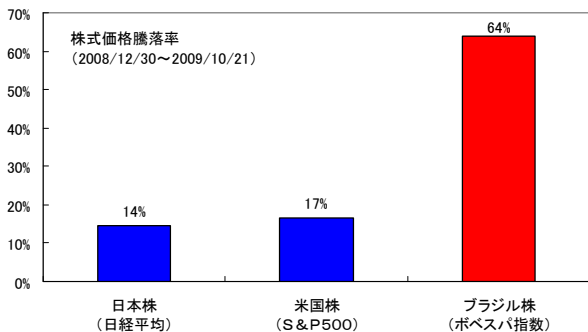
【図表②】



出所:ブルームバーグ

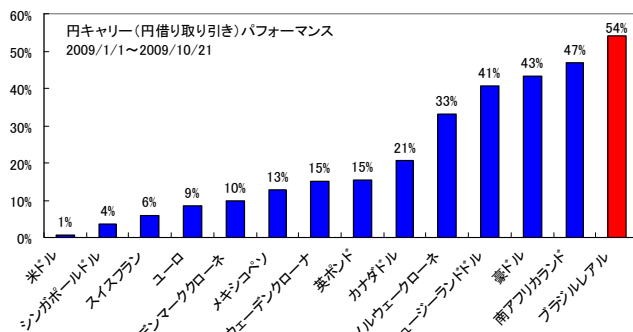
ブラジル株の年初来の上昇は現地通貨建てで、+64%を記録しており、2%の税率では費用対効果の観点からブラジル非居住者による株式投資の勢いを抑制するのは困難との声もあります(図表③参照)。また、円キャリー(円借り取り引き)での対ブラジルレアル投資では年初来パフォーマンスが主要通貨中、最高の+54%を記録しており、こちらも債券(金利)投資の抑制には効果薄と見る向きが多い模様です。

【図表③】



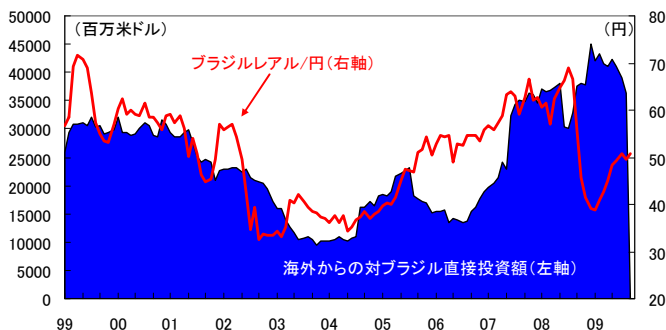
出所:ブルームバーグ

【図表④】



出所:ブルームバーグ

【図表⑤】



出所:ブルームバーグ

ブラジルへの資金流入に支えられたブラジルレアル高は、なにも債券や株式に係る資金だけではなく、ブラジル非居住者による直接投資によるところも大きいものと考えられます(図表⑤参照)。この点を考慮すると、今回の課税措置によるブラジルレアル高の抑制効果は限定的なのかもしれません(図表⑤参照)。

ご留意いただきたい事項

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。
- 投資信託は値動きのある資産を投資対象としており、基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割込むおそれがあります。ファンドによって投資対象資産や投資規制、投資対象国などが異なるため、リスクの内容や性質が異なります。また、投資信託のお申込時、保有期間中、およびご換金時には費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料に記載されている各指数、統計資料等の著作権・知的財産権その他一切の権利は、各算出先、公表元に帰属します。
- 当資料に記載されている内容は発行日現在のものであり、今後予告なく変更される場合があります。投資に関する最終決定はお客様ご自身でご判断ください。
- 当資料のグラフ・数値等は過去の実績であり、将来の市場環境の変動や投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号
加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

